京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

偶感一束

勿禁

▲京城の天地は麗かに晴れ渡る昨今に候、春容のそれに似て至つて融々たるものに候、唯副統監の統監昇任説が果して世人の噂する如く事實となりて持ち上る乎、それとも他の適材を以て統監たらしむる乎の問題が誰しもの頭に浮び居るの外他に之といつて眼を聳ねしむる程の問題之無候、而して此の統監更迭問題に就ては世人幾多の揣摩臆測行はれ居り候、一度敢て爰に之が揣摩臆測の上塗りをなし更に蛇足を加ふるの必要を認めず候も要するに余輩は其の何れの人が統監の位を占むるとも眞言宗的にあらずして日蓮宗的に極めて活潑明潤に行動されんことを望むの外他念なく候、

▲京城の春の眺めはれつなものか、れつでないものかは余輩無風流漢の與り知らざる所なれど若し果してれつなものとすれば、曾禰副統監には少なくとも京城の風物に趣味を有せるものといふべく候、既に京城の風物に趣味を有す、伊公に代りて統監の位に就くは固より甘受する所なるべしと被存候、併し假令へば予が統監となりしにもせよ、春の眺め許りを遣つて居つた日には側の迷惑如何許りかは知れず候、

▲不言不行鳴かず蜚ばざる三年とは古へよりの諺に候も副統監にあつては左に非ず鳴く力は人並以上にて蜚ぶ方のみ三年の諺を守り居るやうに見受けられ候、懸鑑近きにあり如上の「春の眺はれつなもの」の如き、予が最近に於て鳴きたる振つたもの一に候、

▲淸國の密獵船が從來韓國の沿岸に出沒し密獵をなし居りしは世人の知る所に候、依つて之れに關し統監府と韓政府との間に過日來協議を遂げ居りしが今回いよいよ仁川及び鎭南浦税關より各所屬の汽船を派遣し之が取締を爲さしむることに決定したる由誠に以て喜ばしきことに候、唯余輩は外に對して兎角優柔不斷勝なる現今の統監府の遣り口が果して嚴正峻烈に之が處罰をなし得るや否やを疑ふものに候、

▲尋常中學校位の開校式に軍司令官やら次官やらが臨席さるゝは内地などにては絶對的に見受けられず候、所が京城にては中學校はおろか小學校にても之等の大官臨席し祝辭を朗讀するか又は一場の演説を試むるが常に候、而して此等の現象は喜ぶべきか喜ばしからざるかは爰に説くを欲せず候も兎も角臨席者中の最高人物ともあるべきものは餘程學生の爲めに計つて利益となるべきことを饒舌り呉れざると豆腐の如き學生の頭に如何なる影響を及ぼさゞるものとも測り知れず候、兎角思想の確固たらざる少年者は其の言ふ人の意味を究めずして唯に其の人物の肩書にのみ隨喜するものに候故

（廿四日午後三時記）

文苑

柴月

●丸木橋●

きみが竇をまつが枝に
千代とかゝりしつた桂
さかへ茂るもろともに
枯ふすをりもろ共に
千年と契りしその言を
君は早くも忘れしか
きみに別れて今さらに
空しく窓にさす月の
淋しき影をみるにつけ
うでは涙にくつるなる
人の心のすげなさは
渡しあめたるまる木橋
よみかへされで朽ちむ
たれか哀れと思ふらむ

寄書

駄句十句を列ね、敢て大方諸賢の叱正を乞はんと欲す、此れを以て四方に誇らむとするには非ず、諒焉（むら）

螢追ふ乙女の眼には溝もなし
螢買ふて探すや夏の古羽織
振り上げた笹の葉末に螢かな
開けて見れば螢のあらぬ攏哉
螢買ふて媚斥けし香嫰かな
閑居して螢に更る夜なやや
田に落ちて螢も取らで戻り鬼
バニチーの影追に似たり螢狩
芋の葉に包みて戻る螢かな
野を横に二つに割きて飛ぶ螢

佐倉宗吾

（八十九） 貞龍齋貞水講演

喜右衛門と宗吾の二人が組づ解れつ 喜「エーッ、こん畜生、ア痛たッ喰付きやだつた 宗「コレ喜右衛門ッ、多くの人に代つて生命を棄てる此宗吾、どうか見遁してくれ 喜「何を吐かしやがる……ア痛たッ、またこん畜生、引掻きやがつた……御用だッ、神妙にしろ……ア痛て此野郎……何人か來てくれねー」喜右衛門が大きな聲を呶鳴り揚げながら辛うな聲に宗五郎を捻伏せる 喜「此畜生ッ、ちたばた爲やがると、汝ごうするか見やがれ、俺アふん縛つて佐倉の城中へ引立てりや、褒美の金は望み次第なんだ、然う成りや此方ア、一生涯安樂に暮せるんだ……ア痛た、だ、たッ、靜かにしやがれ、エーッ御用だ神妙にしろ」と押へ付けてゐる、此方は水神の森の蔭へ船を寄せまして宗吾殿の歸りを待つて居りました渡守の甚兵衛、如何にも遅くなりましたから「ハテナ御察し申すが、斯う云ふ場合だから、此様なに手間が取れる譯がないが、さうでもない、又隣村の役人等に見咎められて、旦那様の御身の上に、變事があるやうないか」と案じられますから、用意のため、板子を一枚抱いて、雪を踏分け、スタスタ行つて來ると『何人か來いやア』と云ふ聲がするから「ハテ不思議」と是から進んで來て見ると、斯は如何に、雪の中に印旛の喜右衛門のため、宗五郎が組敷かれてゐる 宗「コレ喜右衛門……喜右衛門、そりや貴様は情けない、多くの人に代はる宗吾ぞうか見通してくれ、コレ喜右衛門ッ 喜「成らねね、ふざけた事をいふな……イヨウッ、其奴ア何人だッ 甚「エー俺だ 喜「渡守の甚兵衛ぢやねねか 甚「甚兵衛だ 喜「オウ甚兵衛、よい處へ來た」と云ふと宗五郎が甚兵衛の姿を見て 宗「アヽ甚兵衛、助けてくれッ……コレ甚兵衛ッ 喜「ヤイ甚兵衛ッ、手前この宗吾に味方でもしやがると、蹴殺して仕舞うぞ……ア痛た、たッ、こん畜生、また喰付きやがつた……ヤイ甚兵衛ッ、手前が持つてる其の板子で宗吾の腰ッ骨をぶん撲つてくれ、宗五をふん縛つて、佐倉城中へ引立てりや、褒美の金子は二十兩貰へるから、手前に其内十兩やる、サア、早く宗五を殴つてくれ 宗「コレ甚兵衛、心得へ違ゐをしては成らぬぞ、多くの人に代はり、生命を捨てる此宗五、江戸表へ往くまでは、大切な身体だ、喜右衛門を殴つてくれ 喜「ヤイ此畜生ッ、俺を殴りやがると承知しねぇぞ……サア甚兵衛、殴つてくれ、二十兩やるから 宗「甚兵衛、私は三十兩やるから 喜「甚兵衛、俺ア四十兩やるから、此宗五の腰ッ骨をぶん殴つてくれ 宗「コレ、私は五十兩やるぞ、胴巻に五十兩あるのを、全然やるから、其處で喜右衛門を殴つてくれ 喜「ムー甚兵衛ッ、れ、たッ、俺、六十兩やるから、サア此宗五の腰ッ骨をぶん撲つてくれ 甚「マア待たつしやい、五十兩だ六十兩だと云はつしやるが喜右衛門どん、お前の云はつしやる通り、此宗五奴悧口振りやがつて、養子の身の上でありながら、江戸表へ御門訴から御駕籠訴まで爲やがつて、それがため御領分が騒ましく成つて皆な難儀をするのも、此宗吾のためだ、宜うし、今俺が宗吾の腰ッ骨を打撲つてやるから、お前御城中へ往つて、褒美の金子を貰つたら、俺にも分けてくんなせね 喜「そりやア無論の事だ、俺が褒美の金をウンと分けて與つたら手前は渡守を廢めて一生涯安樂に暮らせら 甚「宜うし合點だッ、それぢや屹度喜右衛門どん褒美の金を分てくんねね 喜「エーッ云迄の事アねね

東拓と鐵道

京城新報

韓國拓殖の最も有力なる機關として生れたる東洋拓殖會社は如何なる事業を經營すれば其職分を盡し得るか、余輩の見る所を以てすれば同會社の爲すべきことは金融と鐵道とを經營するを以て最も重要となす。聞く所に依れば會社の内部に於ても頗る金融と鐵道とを同ふするもの少からず、然れども同會社内部全体の意嚮は未だ之に傾かざるは甚だ遺憾の事なりとす。

東拓會社の定款を見れば種々雜多の營業項目あり[illegible]而して此頃は水產の權利をも獲得し移民をして水產に從事せしむる計畫を爲しつゝあり、現在の營業方針を以てすれば啻に水產のみならず、農業、鑛業は勿論[illegible]なる事業は、國家の補助を受くる東拓會社[illegible]

[illegible]拓殖上最も重要なる鐵道、新鐵道に着手するを可とす、之れ東拓會社の職分也、使命也、[illegible]に深入せざる前[illegible]とを自覺せし[illegible]るもの也、

●製紙會社の設立

[illegible]

東京電報

●伊公無關係說

伊藤公は[illegible]韓國政治に關し顧問の位置[illegible]反對せられず全[illegible]

●派遣隊司令部

韓國派遣[illegible]發し二十七日宇[illegible]上陸すべし

●派遣隊の襟章

韓國派遣[illegible]公布さる（以上[illegible]）

●派遣隊の編成

韓國派遣[illegible]第九、第十五、第十[illegible]を選拔し混成[illegible]ものにして二十[illegible]

●橫須賀の大火

昨夕橫須[illegible]水兵要塞兵の多[illegible]熱加ふるに水切[illegible]行會社、劇場、新[illegible]百餘戶損害二百[illegible]

●經理學校臨御

本日の經[illegible]臨幸あらせら[illegible]相成たり

●統監の更迭期

二十八日[illegible]發表せらるゝと

●陸大教授任命

久世獨立[illegible]官に任ぜられ其[illegible]佐梅澤唯滿氏任[illegible]（以上二十四日夜發）

外報　東京

●日本人の罷業

[illegible]島各區プランテ[illegible]求のため同盟罷[illegible]は一同に罷工せ[illegible]ンの罷工者を合[illegible]

●討伐の好成績

臺東生蕃は討伐[illegible]る搜索に逃隱れ[illegible]の隘勇線を驅が[illegible]く進み最早一段[illegible]里社に於て討伐[illegible]

●臺南製糖產額

[illegible]製糖會社は二十[illegible]期の產額六萬五[illegible]

●愈海軍大擴張

[illegible]の戰鬪艦新造計[illegible]れり即ち内閣は[illegible]戰艦八隻の新造[illegible]

[illegible]たる日本觀光團員[illegible]十萬圓に增加し龍山に一大工場を建設さる[illegible]の諸氏と會見する處ありたるが愈々同氏は韓して萬事協議すべしと京通は報せり

●英國兵を撤す

英國は波斯國ブシール駐屯軍を撤去せりと

●蒙古の露兵

蒙古兆府には目下露兵三百駐屯し淸國官憲より撤退を迫れども頑として應ぜず永住の準備をなし居りと

●客月中の北韓商況

元山理事廳の調査に係る四月中の重要輸出品は木綿、雜貨等にして一二取引の前月に比し稍好況なるを見るも他は概して不況なり又金融は前月に比し貸出五萬餘圓減少し預金にて六萬餘圓の增加を示せりと

●補助航路引繼者

韓國政府より向ふ三ヶ年間毎年一萬四千八百圓の補助を得る事に決定せる木浦の航海業者武内繰太郎氏は同地の有力者瀬田有造氏に讓渡す事に決定し農商工部の承認を得たりと

●司法官典獄會議

司法官會議は引續き昨二十五日午前十時より法部樓上に於て開會されたるが十一時高法相は司法官一同に對し司法事務に關する一場の訓旨を與へ夫れより各司法官の提出したる協議事項に就き會議を開き午后一時より典獄會議を開會し高法相の訓旨演說ありて散會したる由

●公有地の調査

韓國昔時の租稅制度は人民より金錢を徵收して之れを公用に使用すること尠なく今日の豫算に於けるが如き款項の費目は大概之れに附屬する土地ありて其土地より生ずる收益を以て支辨せしものなれば公有地と稱するもの〻種類は其數實に數百種の多きに上れる由なるが度支部にては是等の土地に就き既に多少の調査を了へたるものあり尙其の全部に就ても追々調査の步を進むるに至るべしといふ

●日英博覽會と韓國

來年五月より倫敦に於て開會せらるゝ日英博覽會に對し日本政府は臺灣、樺太、關東州韓國等の產業狀態を世界に紹介するの目的を以て出品を爲す筈なるが之に關し韓國に於ては統監府は在韓邦人の經營せる產業韓國政府は韓國民の產業を示すべき出品をなす計畫にて一面本邦政府に向け韓國の爲めに出品を配列さるべき地區の面積に付て照會中なるが他面にては出品の目的を達する方法として韓國側と統監府側と協議して一の出品協會の如き機關を設置する筈にて目下相談中なりといふ

●皇族大臣の視察

韓國各皇族及李首相以下の各部大臣は來る廿七日午後二時半より道家農部技師の案内にて京城白雲[illegible]の砂防植栽地及京城林業事務所の苗圃を視察する由

●度量衡器不日配布

各道を通じ度量衡器を配布すべき場所は愈々二十三ヶ所に決定したるが過般注文したる三萬圓の度量衡器今月中に到着すべきに就き不日夫れ〳〵配布の運びに至るべしと

●農業獎勵と幻燈

農商工部にては農業の改良を圖ると同時に之れが獎勵のため幻燈器を購入し過般試驗したるが成績頗る良好なるに就き時と所を擇び寫影すべしと

●株劵交付期滿了

東拓株劵の交付は東京出張所に於て客月廿七日より開始し居たるが愈々廿五日を以て其交付を中止したる由而して廿三日迄の株劵交付數は約十一萬株なりしと因に韓國本[illegible]

●巡查增給令の發布

從來六級以上の月俸を受くる巡查は六ヶ月經過するにあらざれば增給することを得ざりしが今回内部令第四號を以て特殊の功績あるものを拔擢する場合に於ては之れを增給することを得る旨公布されたり

●補助學校と教官

學部は官公立普通學校の代用として各道私立學校中より三十校の補助學校を撰定したる由は既報の如くなるが此等補助學校に配置さるべき日本教師一名は各道官公立普通學校學監より任命し韓人教師二名は漢城師範學校の本年度卒業生中より任命したりと

●司法官の帶同謁見

高法部大臣は來る二十六日午前十一時三十分目下開會中の司法官及典獄會議に列席せる渡邊大審院長、國分檢事總長、城、永嶋、土井三控訴院長、世古、向井、黑川三控訴院檢事長、中村、元木、鳥山、岩本、玉置、西、鈴木、勅使河原、各地方裁判所長、中川、兼重、吉田、鄕澤、北村、青木、關口、岩田、各地方裁判所檢事長、神尾、三井、富山、諏訪、古垣、山田、松村、芋川、各典獄、松村、安住、神野三控訴院書記長を帶同して韓皇に謁見すと

●學校教員の移動

別項記載の如く官公立普通學校學監より補助學校學監に轉任したるものあるより各道を通じ官公立學校學監に數十の移動ありと

●手形組合理事後任

過般死去したる漢城手形組合理事藤井定吉氏の後任は共同倉庫支配人石井光雄氏之を兼任することゝなれりと

●韓國植物園設計談

滯京中なりし福羽内苑頭は二十一日聯絡船にて下の關に至り韓國植物園の設計に就き或る人に語つて曰く今回の渡韓は昨年九月より着手したる韓國帝室所屬植物園の一部竣成せしに付臨檢せんが爲めたり元來韓國にては花卉の心目を樂ましむるもの殊になく皇帝が室外運動を試みらるゝ適當の場所なかりしより伊藤統監が玉體の健康を顧慮し余に植物園の設計を爲さしめ八萬餘圓の豫算にて昌德宮内に培養場百六十坪、陳列場百六十坪都合三百二十坪の溫室を建設することに決し早速着手せしめしか塞寒の爲め工事を中止し漸く此頃培養場落成し殘部は來る十月迄に完成する筈なり尤も請負工事にては豫算を超過する爲め直營とせしが目下竣工の分丈けにても入札價格は二萬三千圓を要するに反し僅かに一萬三千圓にて出來上れり右に付來月十日を期し橫濱園藝會社より蘭三百種其他熱帶植物約百種を取交せ裝置する筈なるが皇帝は非常の御待兼ねにて時々工事場に成らせらるゝ事あり全部完成の後は一部の人々に縱覽を許さるゝ由なれば將來韓國の園藝思想を喚起すべく技師は我國より派遣せらるべしと云々

●莞島の森林保護

莞島森林の盜伐盛んなるは人の知る所なるが近來全南地方の暴徒頗る猖獗にして莞島郡衙及び巡查駐在所の如き昨年以來數回襲擊を蒙むる次第なるを以て暴徒の黨與にして森林を盜伐し其資に充つるもの多く且つ同島及び附近の住民も米穀の賣行なく生活に困難なるより相率ゐて木材を濫伐するを以て農商工部は之が保護を講ずることに決し曩に山林事務囑託本間九介氏を同地に派遣したるが同地の調査を終へ廿四日歸任すと

漫畫募集

▲應募心得▼

一、畫題は時事問題に關する諷刺
二、畫面は四寸五分と二寸二分五厘
　但竪橫自由の事
三、當選者へは本紙一個月分を進呈す

四十二年五月　京城新報社

●新稅實施と收入

三稅の徵收豫定額は煙草は四十八萬六千圓家屋稅は廿二萬六千圓、酒稅は十六萬三千圓合計八十八万六千七百圓の見込なるが右三稅の中家屋、酒稅は今月より徵收に着手する筈にて其の收納稅は約二十萬圓位なり

●北韓自由貿易

北韓淸津港を經て間島及渾春地方への輸出入貨物は自今關稅を免除すべしとの法律昨廿五日の官報を以て公布せられしが其の理由は浦鹽港が自由港の閉鎖と同時に北韓は益々貿易を擴張するの容易なる上に從來は淸國に於て關稅を附加せられしものが淸領渾春方面を通過する時は再び關稅を附加せらるゝには貿易の發展上非常の不得策なるを以て其筋にては今般之れを開放して自由貿易港と爲したるものなるが其の方法は最初淸津にて關稅の證明を受け一應稅金の納入を爲し間島又は渾春へ到着したるの證明を得て拂戾を受くる筈なりと而して淸津より會寧迄は輕便鐵道の便ありそれより間島に輸送するを常とす次に渾春方面は慶興及穩城を經て到るものなるが場合に依りては雄基灣より稅關監視署の證明を得て輸送することゝあるべしと云ふ

●天安附近の砂金

天安附近に於ける重なる企業は邦人某三名の砂金採掘事業にして忠州、木川兩郡内に二礦あり一ヶ月の純益約三千圓今一つの試掘中にある金礦は區域廣大ならずと雖も土塊に含む金料多く土塊十五貫匁中に含む金料六十匁あり有望也と

●淸州市場の盛況

忠淸北道淸州邑内市場は近來頗る盛況を呈し一日の取引七八千圓より多くは一萬圓に達する由

●坂神韓國視察團体

坂神韓國實業視察團体五十名は六月十一日釜山上陸十二日京城着、開城、平壤、新義州、安東縣、鎭南浦、兼二浦等を視察の上歸坂する由

●慶尙物產陳列館

晉州に慶尙南道物產陳列館設立され廣く各種の出品を希望する由にて各曾議所に其出品方を依頼せりと

●日本人會設立計畫

勿禁驛附近は近頃本邦人の移住する者頗る增加し戶數四十戶に近く（梁山郡衙所在地を除く）依て日本人會設立の議在留民中に熟し一同連印のうへ今明日の内に釜山理事廳に認可申請する筈

●尙州金泉間の道路

慶南道尙州金泉間の道路改修の議は先頃より金泉住民に依り唱道せられつゝあるが該道路は唯安谷嶺の工事困難なるも他は在來道路の道幅を廣めたるに過ぎざれば觀察道が郡守に命じて人夫を出させ改修せしむれば容易なるべしと

●高法部大臣の招宴

高法部大臣は來る二十八日午後六時より目下入京中の各司法官、典獄、各部大臣並に關係官廳の重なる職員を掬翠樓に招待し晚餐會を開く可しと

●俵學部次官東上

俵學部次官は既報の如く昨二十五日南大門發東上の途に就きたるが學部大臣其他見送人多數なりき

●岩佐理事の招宴

東拓金融部長岩佐理事は昨廿五日午後五時より同社調査役九名を大和町の自宅に招き晚餐會を開けりと

●熊谷民團長の引籠

熊谷京城民團長は過日來齒痛に惱み居りたるが此の程切開の後經過不良にて發熱甚だ高く一昨廿四日より自宅に於て靜養中なりと

◎故藤井定吉氏の葬儀

故藤井定吉氏の葬儀は既報の如く昨日午後四時より東本願寺に於て施行せられ僧侶の讀經に續て度支部大臣の弔詞を鈴木司稅局長代讀し韓人側銀行を代表して韓相龍氏次に韓人側金融機關代表として遠山天一銀行支配人度支部野村鑑定官鹿兒島縣人を代表し最後に淺野三井物產支店長は高等商業學校同窓會支部を代表して弔詞を朗讀して式を畢る當日の會葬者は無慮三百餘名にして頗る盛大なる葬儀なりき

●正誤

昨紙淵上貞助氏が四十二歳厄年に相當するを以て來る六月一日花月樓に於て厄拂の宴を催ふすべしと記載せしが右は誤りにて實際は山口、和田、中村氏等が發起となり氏の爲めに小宴を開くとのとなり

公人私人

▲白川正治（平壤實業新報社主）　二十四日[illegible]

[illegible]より就職せ[illegible]の出入船舶[illegible]

入京原金

▲鈴木伍三郎（晉州地方裁判所長）　司法官會議に列席の爲め入京京城ホテルに[illegible]中の所巴城館へ轉宿
▲關口半（同檢事長）　同上
▲岩田孝慈（公州地方裁判所檢事長）　[illegible]
▲本山留五郎（仁川監獄分監長）　二十[illegible]入京三日月[illegible]
▲渡邊節（度支部建築所技師）　佐藤旅[illegible]投宿中山本旅館
▲中谷淺太郎（春川郵便局長）　廿四日[illegible]
▲土屋彥太郎（平壤農工銀行支配人）　支配人會議に列席の爲入京中の處廿四日[illegible]
▲唐島潤（新義州[illegible]）　數日前滯京中の處[illegible]新義州へ

近事片々

▲會寧　[illegible]子の昇任發表延引後藤遞信總[illegible]京に依り[illegible]統監たるべしと說起れ[illegible]
▲是れ　後藤遞信總[illegible]歸京に起れる道途の[illegible]也と雖も遞信が世間より望を屬せらる[illegible]
▲監齋　の大銃的の手腕は統監として[illegible]效績を擧げ得べきも未だ渠には[illegible]
▲統監　府官制改正と共に民團制度廢止[illegible]傳はるも當局者到底茲迄の英斷は[illegible]
▲統監　更迭官制改正を機とし總て[illegible]より改善するを可とすれど逆も其英[illegible]
▲次官　を全廢し長官制度となし統監[illegible]
▲官衙　の如きも現在の如く多きと[illegible]宜しく廢合して二三部となすも差支[illegible]
▲現角　繁文褥禮に流れ易し人員を[illegible]
▲新統　監發表延引は伊公の周圍[illegible]調査しつゝある爲也と[illegible]
▲然も　に周圍の事情は曾禰子を[illegible]るに差支なしと周圍の事情とは何事[illegible]
▲國民　の喋々人の躁在留邦人の躁は[illegible]の事情に非ず矢張例の列國に對する[illegible]
▲沈默　久しかりし李允用此頃亦何[illegible]つてか奔走を始むとの老狸の活動[illegible]
▲農相　趙重應頃來馬車を八方に驅[illegible]用の隱密を勸むと京童評す果して何の[illegible]
▲私立　學校と時事論の著書多きとは[illegible]に於ける最も新しき現象議者の注意[illegible]
▲何れ　の著書も私立學校も皆獨立[illegible]鼓舞するの具たり是れ喜ぶべき現象[illegible]
▲萬朝　報は曾禰子統監として赴任[illegible]日は韓國の騷擾想像するに餘ありと[illegible]
▲韓國　に騷擾ありとは何事を意味[illegible]か韓國人が曾禰子に平ならずとの[illegible]
▲伊公　太子大師を辭任すべしとの[illegible]少々受取難し恐らく大師職は尙[illegible]
▲東拓　は移民百萬人を韓土に容る[illegible]の理想今日の狀態では迚も十萬人[illegible]
▲商商　問題もスッタ揉だで漸く落[illegible]昨日より授業を開始せりと先々結構[illegible]
▲橫濱　稅關工事部藤井某舟乘高木[illegible]女に懸想し舟中に附文を放下し[illegible]
▲亭主　の高木七年後に之を聞き[illegible]に堪へず女房を預て其眞僞を試み[illegible]
▲結局　警察沙汰警官も餘りの滑稽[illegible]嫉妬も度が過ぎれば滑稽也是れ近[illegible]
●是達中佐の大邱行　軍司令部[illegible]

●京城の一朝　ぼく

瑞々しき曙光漸くうすれくて、人の往徠頻繁し、然も此れ多くは韓人也、道幅狹き本町通りは此の位の人通りが適當なり。戸窓く鎖したる辻屋日韓書房の一排は間口の廣きと建築の新らしきと相俟つて確かに泥濘の誇りなるべし。三越呉服店の前に電柱あり、店頭美を損すること夥し。明治町に曲らんとする角の水菓子屋、南山町へ折れんとする角の高木雜貨店、相對して店飾りに忙しく氣也、秋吉商店も戸は繰り開けられてあり、中村氏の蝶門も又八文字に開かれたり、花崗石にて甃みたる敷石の水に洗はれたる、涼しと見やる目前をヒラリ、友の花には振り棄てられ、春にも行かれし胡蝶か、涙の露に濡れしか翼、力なや、盛りと萌ゆる高麗芝に、ハラリと落ちしが憐にも又美しい　本町四丁目に鈴木第三支店と書かれたる足袋店あり、鉱力にペンキ塗りたる足袋をツラリと軒頭に掛け陳ねたり、軒低ければ殆ど人の頭をすれくなり、客の頭に足を上ぐ改良せられたきもの也、尤も此れは此の店一軒にてはなし、[illegible]町一の野村商店、本町二の鈴木商店、何れも注意せらるべし、と、松郎君が理屈を云へば、酒泉子拔からず、誰れかの樣に、金を費ふて女の臀に、敷かれて喜ぶ人もある世でござり升と、松郎君の横顏を、見ぬ振りをして云ひ終つて、フフフと妙に笑ふて居る。五丁目の左巷路永樂町一丁目嬉し野の前に北内商店と銘打つたる提灯さげて廿八九の丸髷妻ひれ妻君が、此方へ向つて來る

本町七丁目の或る横町を、頸でシャクツて酒泉子曰、僕の別莊は此の奥にありと云ふ、顔見合せて大笑ひ、行く前にヌックリ二匹の犬、[illegible]四足を踏ん張り、吠へて行らう仕樣かと、云はぬ計りに小首を傾け、立ち止まつたる威容堂々、揃ひも揃つた[illegible]、思はず慄然と吐胸を突きしも、[illegible]叶ふまじと、乳の邊より[illegible]撫で下せば、笑する[illegible]尾を打ち振りて戯れかゝる、存外可愛いものなり発。暁々として響き來る口笛の、耳に馴染か、猛然として其の香の主の跡を追ふ。兎角して新町遊廓に入る、道の兩側に植ゑられたる柳櫻の、春の錦を織りなして、解語花の美に照り映ゆる京城の風流男子が魂を奪ふの日は何日なるらん、折角立てた百年の大計も、宵暗の、素見歸りの彌次馬が鼻毛を拔かれた口惜紛れ、杖がはりに拔かれぬ樣、何でも注意が肝要なり。（つゞく）

●偽巡査の臨檢　▲誠は早瀬組の車挽き　▲本物の巡査に抵抗す

本町五丁目早瀬組の車夫宮本宇兵衛（二十）と云へるは一昨夜十一時過大和町二丁目料理店松の屋事則象ゐつ方に至り臨檢なりとて客室を見廻り飲酒中の客二人に對し取調べを爲し且つ酌婦一同を集めて姓名を取調べ之を手帳に記載して悠々と立出で又もや同町青雲亭事吉田ひで方へ至りて同じく取調るひでは此旨本町派出所へ訴へ出でしかば同所より東郷巡査出張し姓名を問ひたるに彼れは傲慢なる言辭を弄するのみか懐中せるナイフを取出さんとするにぞ同巡査は其手を押へしに彼れは忽ち抵抗を初め格闘中新町派出所の池田巡査來合はしたれば協力して之を捕縛し南部署に引致し取調中なり

●天眞樓のボヤ　一昨日午後六時半頃南山町二丁目天眞樓裏口に据付ける塵芥箱より發火しアハヤ大事に至らんとせしを二階に宿泊の客人が發見して急を報じ人々寄り集り消し止めたるが原因は同樓雇人山岡正雄（二五）が風呂釜の灰を投じたるに暫くして同じく雇人韓人某がビール包の藁類を其上に捨てたれば火氣忽ち起りて此の始末に及びたるものなりと注意すべき事共也

●破獄囚捕はる　三年以前仁川監獄を破獄して直に逮捕せられしに昨年六月又もや京城監獄に入監中脱獄して遂に行衛を晦ましたる脱獄の名人門司生れの柿永準一

…は此程大邱にて逮捕せられ、昨日信濃川丸にて仁川に送附せられたるが昨日午後京城に護送し來りたり

●竊盜で懲役十年　新町遊廓は元山遊廓帳場内田安二郎（二十）が本町贊化病院に忍入り金時計外數點を竊取し仁川に至り徘徊中同署刑事の爲めに逮捕されたる事は當時報導せしが右は一昨日仁川理事廳に於て公判開廷の結果懲役十年に處せられたり

●深川樓の閉店　仁川敷島遊廓唯一の三層造り深川樓は昨今の不景氣に屋臺骨の折れたりけん主人岡虎輔は一昨日休業屆を出し閉店したるが抱妓日の出、小鷹、朝潮、文子、曙、紫、樹菊の面々は朝日樓支店にて勤むべしとの評判なり

紳士の遊興振

藤田嗣章君。

駐韓軍々醫部長藤田嗣章君を劈頭第一此欄に引出したに就ては御當人に取つては甚だ迷惑かも知れぬが、實は筆者も頗る苦辛の結果である、凡そ序幕に現はるゝ人物は苟も後繼者に向つて範を示すに足るもので無くてはならぬ、藤田君の遊興振は慥かに當世紳士に範を示すに足る君が長身を馬上豐かに跨りて傲然として人を睥睨する處異に威風堂々たる者だ、而かも一度び軍服を脱して花月樓上の人となれば意外く其洒脱なる遊び方のアッサリとした處が生粹の江戸兒だ、招く藝妓も容貌の美醜は問はない、藝の上手な妓共ばかりか又はイッツ雛妓ばかりを聘げ喜々として樂む得意は清元だが是とても自らは歌はず藝妓に唄はして後で盛んに節廻しの講釋を聞かせる、偶々酔つて興に乘ずれば立て劍舞を演るそれも殆ど一定せるが如く「大醉酒を呼んで高樓に座す」と例の南州翁の詩吟で葡萄酒一盃を飲み干して得々たり斯くて君は大に浩然の氣を養ふ、元より藝妓に醜關係などは附けない只腦中樂み以外何物も無い無邪氣にして瓢逸なる處面白しく

●滑稽新聞演藝會　先般初號を發行したる韓國滑稽新聞は創刊祝賀として來る廿七、八の兩日龍山座に於て演藝會を催す筈なるが演藝の種類は博多二〇加、龍山藝妓總出の演劇等なりと言へば定めて盛會なるべし

●巴のアバ面　仁川敷島遊廓敷島支店の巴は天然痘に罹り避病院にて療養を加へ居たるが此程全癒し一昨日アバ面さげて歸樓したりと

●空家に二人の曲者　昨日午前十一時頃明治町三丁目二百五番戸空家の二階に二人の曲者潜伏し居るを南部署兒玉巡査が發見して引致したるが一人は東京市芝區櫻町目下本町八丁目佐々木きく方無職磯島幸市（三九）一人は愛知縣春日井郡井尾村當時住所不定無職吉田梅吉（十七）と云ふものにて目下同署に留置中なるが梅吉は韓服を纏ひ居り

●長烟管で毆打す　仁川濱町居住東京生れ前田駒吉と云ふは昨日午前七時頃海岸通りにて牛角洞承聖集と云へる男と些細なることより爭論し無法にも承の手にせる長煙管を奪ひてしたゝか毆打したる騷ぎに警官出張したるが結局駒吉より五十錢の治療代を出すことにして事濟み

●酌婦と抱主の[illegible]炎　大和町二丁目吉田秀子は山口縣生れの古野ヨシ（二十）を去る三月十八日より酌婦として雇入ながら其屆出を怠り居りしかば科料金壹圓に處せられ又ヨシも無屆の廉により同じく壹圓の科料を言渡されたり

●徵兵令違犯者送還　奈良縣生れ柳原健一（二一）と云ふは徵兵適齡なるにも不拘渡韓して諸々流浪し居たるが一昨日海州より仁川に來り上陸せんとしたる所を警官に發見せられ引致の上郷里に送らる

●小中將の廢業　新町第一樓本店に嬌名を稱られし小中將事神奈川縣久良岐郡生れ石井ツノ（三十）は首尾能く三年の年期を務め昨日芽出度く泥足を洗ひたり

●春日とかしく　近來待合開業を出願するもの頗る多きも何れも其構造不完全にして許可を與へられず又從來開業の分も不完全なる者は認可を取消す由なるが先般開業の南山町二丁目かしくは待合として尤も古き名を有せる春日の支店にして設備頗る結構、待遇も又宜敷きとの評判高し

●機械製氷の大賣出　西大門アストルハウスの持主なるマルタン氏は製氷機械にて水道の水を用ひ純良氷を製造し一パウント二錢にて販賣する由因みに去る十八日より廿日まで掲載せし廣告中「一斤二錢」とありしは誤一斤即ち一パウントの意味なり

●丸一のゆかたデー　本町三丁目丸一呉服店は本月廿五日より三十日まで新柄浴衣地を近隣なる旭旅館に陳列し一割引にて販賣する由夕方デーなどゝ言はず朝から出てドシドシ御來車をとの主人の注文

●丸京の大賣出し　本町四丁目丸京事杉本呉服店にては本月廿一日より三十一日迄夏衣大賣出しを爲し正札より一割引にて販賣し且つ二圓以上の購買者には壽座觀覽券一枚宛を進呈する由

●壽座の替り　本日替りは「公明正大四人書生」にして配役左の如し

松本檢事正（松村）吉田幸一（吉井）岩淵猛（大山）村松妹れ梅（藤原）村松圭助（篠田）橋本檢事（阿部）北村重作（高山）江戸屋源十郎（中村）和歌の家妻吉（小堀）料理人駒吉（田宮）

●花柳の巷より　花柳子

◎新報記者足下、時候柄餘程暖く夕景[illegible]城臺の散歩イヤに心地好く相成候、去れど昨年來より吹き荒む不景氣の風は依然今も尚其狀態を改めず、楷面は不夜城と稱られ極樂界裡と歌はれし各花柳の巷も亦か影響として昨今の寂寞殆んど絶頂に達して聞くから氣の毒の感有之候　折柄貴紙上に「新町見物附たり繁榮策を講せよ」と而も二號活字の見出しで椋助君の御意見……御發表……相成候、不景氣挽回策に苦辛せる該業者に取つては餘程參考とも相成可申と信じ居候　然し椋助君の御意見の中に「大体女の身代金（中略）假りに一人一ヶ年百圓とすれば月割十圓に足らぬ二夜の玉代有れば元金は取れるコンナ甘い事が何時迄も續いて溜るものか云々」と云ふ説に候得共此は飛んだ間違にて空算も甚敷候　全体椋助君は多少花柳社會の經濟上に於ける事情御承知に候哉實に疑はしく候、元來官吏の減俸や开歷な空算で値下げなどゝは餘り慨然なれ説に有之候　御參考迄に、凡そ藝娼妓は貸借金額の多額は第二として是等抱女に要する一人一ヶ月の費用平均額を具体的に現はせば先づ元金、利息、税金、食費、衣裳、部室料、傭人給、電氣、電話料、水道費、薪炭費、病費、修繕費、地料、營業税、戸別税、掃除費、裝飾費等實に七十圓以上を要するは少し花柳通の人は能く御承知に有之候　花柳界の金融狀態から之等費用の如何を御存なき方には或は意外に感ぜらるゝ人も有之べきに就き之が辯明とあらば何時にても實證を擧げて說明申上候　從て玉代ゝ之を基礎に打算せられたる者なる事御承知相成度候尤も市中に散在せる俗に密淫賣屋と云ふ所の金融狀態や費用の點は総く拙者調査仕らず候爲め不明に有之候

◎新報記者足下　次に當地中檢番設置開業祝として花月、掬翠、井門、清華の各樓藝妓打揃ふて藝妓芝居開催の企てある赴何時ぞや大韓日報子が報道致居候得共其後聞く處に依ると右は當分見合せと相成其原因は掬翠の文之助が眼病故との事に候　中檢の藝妓數拾名の中に獨り文之助が眼病に罹つた爲め芝居が出來ぬとすればヤレ／＼中檢藝妓連の腕前もたこそと察せられ申候、文之助の腕前に感服すると同時に花月樓にたゑん、お福、お茶羅、井門樓の政子、蜻蛉、蝶[illegible]姐達の[illegible]マグ／＼腕無しかと徐ろ慨然の[illegible]も許り拾ふたら、梅干姐も[illegible]を飲んでタンカを切る許りが藝妓の能にも有間敷少し、は中檢藝妓として恥も知つて貰ひ度候　一二等料理店の抱へ妓でムい中檢の姐はんでムいさ洒れて見た處で這麼な事ではなされなく相成候故マー掬翠樓の文之助姐が眼病でも全治して歸韓したら這麼こそは充分演藝の指南でも受けて將來は文姐が居なくとも中檢で藝妓芝居位は出來る樣に稽古だけは仕て貰ふて置く方が宜からうと粹士間の評判に候、出來ない中檢の姐はん連に如何に御辛苦遊ばすとも开は駄目故文姐の歸韓を待つて精々御勉强こそ祈候

◎新報記者足下、終りに一寸御照會申上候花月樓の小高、井門樓の雛子、清華亭の丸子の三雛妓は頃日故宴席上にて姉妹の契を確く相結び候由、百合、薔薇、牡丹の引拔き揃ひの姉妹と來ては聞くだに無邪氣な可愛いゝ地致し候　[illegible]に仁川の花柳界に三姉妹ありて粹士間の待噺しのたねとなり、今又京城に可愛い姉妹生る而も名花の蕾と聞くからは何れ共道の持て噺されもやせんと以察せられ候得共未だ年葉も行かぬ雛妓、それは與樣なる罪は作らせまじく候而して行末は京城の名花と開かんもの其時は今の中檢姐はん連の如く文姐が居らね……はと云ふ樣な意氣地のなき斷言を吐かぬ樣今より勉强所も肝要に候可々

●天氣豫報（自廿五日午後六時至廿六日午後六時）

北西の風晴

廿四日　最高溫度　七六、六　最低溫度　六一、二（華氏）

各種洗濯石鹸 専門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部
●發展度　年二十五歳身体強健多年農業に經驗あり農事經營者へ雇はれたし市内に確實保證人あり　姓名在社（二五九）
●被雇度　多年寫眞術に從事尤も技術を善くす給料多きを不望至急被雇たし　氏名在社（二六二）
●下女希望　年十九確實なる身元保證人あり堅氣の家に雇れたし　氏名在社（二六五）
●尋人謝金　伊豫松山附近より來る人あれば依頼致度事あり謝金十圓を呈す　氏名在社（二六四）
里子に遣度　生子一ヶ月乳汁多くある方に預けたし委細面談　氏名在社（　）
●行商募集　男女を問はず古着行商希望の人を求む　旭町一の六　京仁商會
●告西君　旭町三の三四日諸氏に承合せられたし（係　）

物件部
ヴァイオリン講習樂器を備へ懇切に教授す毎週月水金午前十時より　永樂町三番樂講習會（二五六）
中古米國製コースター付自轉車至急讓受けたし　姓名在社（二五七）
●貸家　大和町元軍司令部通庭内三百坪西洋二階建廿七坪平家廿四坪電燈電話附會社病院向格安賣又貸度し　氏名在社（二六三）
●氷店賣却　氷店道具一切附屬品共賣却したし御望の方は電話千百八十三番へ

廣告

京城ニ事務所ヲ新設シ法律諸般ノ高囑ニ應ス
辯護士　日本法律學士　石黒行平
京城事務所　京城南山町二丁目十五番地　電話二六五番
仁川出張所　仁川港本町一丁目八番地　電話二六五番
共同執務　公認代理業者　石塚嘉弌

最上醤油
山十印
寛永五年創業
米國聖路易萬國博覽會名譽最高賞牌受領
釀造元　千葉縣銚子町　岩崎重次郎
韓國一手特約販賣元
京城　三巴酒店（電話七五三番）

消毒　殺菌
牛乳
京城大和町壹丁目
千山牧場
電話一一三三

G.D. 印トルコ金口煙草（百本入　十本入）
歐州各國帝室御用品
品質優等、意匠艶麗
新荷着廣告
外各種百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第郵送附可申上候
直輸入元　仁川本町一丁目　トルコ煙草商會（電話七一五番）

［illegible］特定御用
消毒　純良　牛乳
荒井牧場
電話一〇五六番

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉す
南大門外御成町紅葉舘跡（茂呂運送店前）
五月開通
戸田病院　電話九三八番

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々數御投宿の程御願申上候
壽町二丁目一番戸横小路（元花屋跡）
かめ屋
▲懇切の下宿▼

東京流　待合　席貸
京城南山町一丁目
電話一二〇五番

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝六
電話五六八番

馬車配達
衛生と消毒
純良　牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
滋養と牛乳

待合　春日
京城本町一丁目

待合　［illegible］
京城壽町二丁目
電話二二九番

五月二十五日より同三十一日まで
一割引
あの夏物賣出し
太物洋反　カヤ蒲團
あ　秋山商店
おなじみの本町郵便局前
電話九百五番

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町二丁目六十七番戸
辯護士　岡田榮（電話三九八番）

LAGER-BEER　KIRIN

大　㐂　薫
特約販賣　自製
漬物　味噌　醤油　製造元
京城本町五丁目
水上商店（電話二五一番）
和洋酒、◎精酎、穀物麺類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、壚辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

營業科目
活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　錺模様　製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕候間ノ旨謹告〔以下不鮮明〕
日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目　電話（三二三番）
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

明治廿年七月創立
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九
事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

京城第一の娛樂場
廿錢均一として毎夜無休
終日の勞を慰せんと欲する者は須らく幣座に來り求められよ必ずや興多からん
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
電話千百三十七番
京城座

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
營業　京城曙町（電話七三番）
本店　同本町三丁目（電話四〇番）
伊藤組

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

西洋料理
京城壽町二丁目
にしき支店
電話七百二十九番
出前仕候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金八拾萬圓
京城南大門通
株式會社　十八銀行京城支店（電話四二〇）
本店　長崎市築町
支店出張所　大阪、熊本、佐世保、嚴原、京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、五島、壹岐
韓國　日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社
仁川流船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三十九番

●釜山經由門司神戸行
山東丸　六月　六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　五月二十七日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸　五月二十五日前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　六月　十七日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸　五月二十六日午後
御注意　御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金貳拾錢▲三ヶ月前金［illegible］▲六ヶ月前金［illegible］▲郵税一ヶ月金［illegible］
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲［illegible］
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高本久馬太郎
發行所　京城新報社
京城南部西小門通　電話六六三番

漢城製藥所長藥劑師　渡邊悦之輔
金水舍製ラムネ
二衛生無害ラムネ、ミカン水
昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水［illegible］販賣仕候間御注文を乞ふ
京城大和町二丁目

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目電話三四八番
中村運送店

工場新築落成に付當分の間　二割引

油物表裝　金紙屏風　額面類一式　壁張天井張
寶香堂
［illegible］